

西江月

●分调绝妙好词

王自周 / 白雪梅 选注



東 方 出 版 社

● 分调绝妙好词

西江月

王自周 / 白雪梅
选注



责任编辑:王 粤

特邀编辑:马玉梅

装帧设计:钱明钧

图书在版编目(CIP)数据

踏莎行·西江月/雒三桂 白雪梅 王自周选注.
-北京:东方出版社,2001.1

(分调绝妙好词)

ISBN 7-5060-1291-X

I. 踏…

II. ①雒… ②白… ③王…

III. 词(文学)-作品集-中国-古代

IV. I222.8

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2000)第 83416 号

踏莎行 西江月

TASHAXING XIJIANGYUE

雒三桂 白雪梅 王自周 选注

东方出版社 出版发行

(100706 北京朝阳门内大街 166 号)

北京通州电子外文印刷厂印刷 新华书店经销

2001 年 1 月第 1 版 2001 年 1 月北京第 1 次印刷

开本:850 毫米×1092 毫米 1/32 印张:6.25

字数:115 千字 印数:1—4000 册

ISBN 7-5060-1291-X/Z·116 定价:12.50 元

目 录

前言	(1)
踏莎行(春色将阑)	(宋)寇 准(1)
踏莎行(二社良辰)	(宋)陈尧佐(3)
踏莎行(细草愁烟)	(宋)晏 殊(5)
踏莎行(祖席离歌)	(宋)晏 殊(7)
踏莎行(碧海无波)	(宋)晏 殊(9)
踏莎行(小径红稀)	(宋)晏 殊(11)
踏莎行(候馆梅残)	(宋)欧阳修(13)
踏莎行(碧藓回廊)	(宋)欧阳修(15)
踏莎行(萱草阑干)	(宋)晁端礼(17)
踏莎行(雾失楼台)	(宋)秦 观(19)
踏莎行(进退存亡)	(宋)辛弃疾(21)
踏莎行(夜月楼台)	(宋)辛弃疾(23)
踏莎行(弄影阑干)	(宋)辛弃疾(25)
踏莎行(吾道悠悠)	(宋)辛弃疾(27)
踏莎行(萱草齐阶)	(宋)辛弃疾(29)
踏莎行(燕燕轻盈)	(宋)姜 夔(31)
踏莎行(驱鹄营桥)	(宋)刘克庄(33)

- 踏莎行(日月跳丸) (宋)刘克庄(35)
- 踏莎行(润玉笼绡) (宋)吴文英(38)
- 踏莎行(远草情钟) (宋)周密(40)
- 踏莎行(命薄佳人) (宋)刘辰翁(42)
- 踏莎行(花引春来) (宋)张炎(44)
- 踏莎行(水际轻烟) (宋)刘将孙(46)
- 踏莎行(殢酒情怀) (宋)无名氏(48)
- 踏莎行(杨柳回塘) (宋)贺铸(50)
- 踏莎行(急雨收春) (宋)贺铸(52)
- 踏莎行(山秀芙蓉) (宋)贺铸(54)
- 踏莎行(阶影红迟) (宋)毛滂(56)
- 踏莎行(拨雪寻春) (宋)毛滂(58)
- 踏莎行(情似游丝) (宋)周紫芝(60)
- 踏莎行(雪似梅花) (宋)吕本中(62)
- 踏莎行(秋入云山) (宋)张抡(64)
- 踏莎行(院落深沉) (宋)洪迈(66)
- 踏莎行(芳草平沙) (元)张翥(68)
- 踏莎行(香罢宵薰) (元)无名氏(70)
- 踏莎行(流水孤村) (明)陈霆(72)
- 踏莎行(露湿春莎) (明)边贡(74)
- 踏莎行(锦幄销香) (清)宋征舆(76)
- 踏莎行(芳草才芽) (清)徐灿(78)
- 踏莎行(铁瓮楼船) (清)易顺鼎(80)
- 踏莎行(白日西驰) (清)庄盘珠(82)

-
- 踏莎行(晓月离亭) (清)庄盘珠(84)
- 踏莎行(叶打星窗) (清)万 树(86)
- 踏莎行(淡月虚窗) (清)林云铭(88)
- 踏莎行(莺掷金梭) (清)彭孙通(90)
- 踏莎行(影淡星河) (清)王鹏运(92)
- 踏莎行(荷静波凉) (清)王鹏运(94)
- 踏莎行(中表姻亲) (清)郑板桥(96)
- 踏莎行(将锦遮花) (清)秋 瑾(98)
- 踏莎行(对影喃喃) (清)秋 瑾(100)

目 录

前言	(1)
西江月(凤额绣帘高卷)	(宋)柳 永(1)
西江月(宝髻松松挽就)	(宋)司马光(3)
西江月(玉骨那愁瘴雾)	(宋)苏 轼(4)
西江月(三过平山堂下)	(宋)苏 轼(6)
西江月(世事一场大梦)	(宋)苏 轼(8)
西江月(照野弥弥浅浪)	(宋)苏 轼(9)
西江月(断送一生惟有)	(宋)黄庭坚(11)
西江月(月侧金盆堕水)	(宋)黄庭坚(13)
西江月(携手看花深径)	(宋)贺 铸(15)
西江月(似有如无好事)	(宋)晁补之(16)
西江月(落寞寒香满院)	(宋)谢 逸(17)
西江月(大厦吞风吐月)	(宋)惠 洪(19)
西江月(羁宦新来作恶)	(宋)葛胜仲(21)
西江月(世事短如春梦)	(宋)朱敦儒(23)
西江月(日日深杯酒满)	(宋)朱敦儒(24)
西江月(罗袖云轻雾薄)	(宋)周紫芝(25)
西江月(五柳坊中烟绿)	(宋)向子諲(26)

- 西江月(我笑牛郎织女) (宋)陈 东(28)
- 西江月(办取舞裙歌扇) (宋)朱淑真(30)
- 西江月(四壁空围恨玉) (宋)张良臣(31)
- 西江月(老去频惊节物) (宋)王千秋(33)
- 西江月(满载一船明月) (宋)张孝祥(35)
- 西江月(问讯湖边春色) (宋)张孝祥(37)
- 西江月(落日熔金万顷) (宋)张孝祥(39)
- 西江月(十里轻红自笑) (宋)张孝祥(41)
- 西江月(剩欲读书已懒) (宋)辛弃疾(43)
- 西江月(人道偏宜歌舞) (宋)辛弃疾(44)
- 西江月(醉里且贪欢笑) (宋)辛弃疾(45)
- 西江月(明月别枝惊鹊) (宋)辛弃疾(46)
- 西江月(绀滑一篙春水) (宋)廖行之(47)
- 西江月(笳鼓旌旗改色) (宋)赵师侠(49)
- 西江月(堂上谋臣尊俎) (宋)刘 过(51)
- 西江月(西月淡窥楼角) (宋)史达祖(53)
- 西江月(燕掠晴丝袅袅) (宋)卢祖皋(55)
- 西江月(枝袅一痕雪在) (宋)吴文英(57)
- 西江月(山色低衔小苑) (宋)翁元龙(59)
- 西江月(天上低昂似旧) (宋)刘辰翁(61)
- 西江月(绿绮紫丝步障) (宋)周 密(63)
- 西江月(褪粉轻盈琼靥) (宋)王沂孙(65)
- 西江月(往事星移物换) (宋)王同祖(66)
- 西江月(曲折迷春院宇) (宋)徐 俨夫(68)

-
- 西江月(水霁芹香燕觜) (宋)胡翼龙(69)
- 西江月(梁上喃喃燕语) (宋)无名氏(70)
- 西江月(人与寒林共瘦) (金)段克己(72)
- 西江月(看竹何须问主) (元)刘 因(74)
- 西江月(有恨不随流水) (明)高 濂(76)
- 西江月(老大无人青眼) (明)谢应芳(77)
- 西江月(几度平山高会) (清)孔尚任(79)
- 西江月(身世飘飘落叶) (清)孙自式(81)
- 西江月(新结临溪水栈) (清)龚 贤(82)

踏 莎 行

(宋) 寇 准

春色将阑^[1]，莺声渐老，红英落尽青梅小^[2]。画堂人静雨蒙蒙^[3]，屏山半掩余香袅^[4]。密约沉沉^[5]，离情杳杳^[6]，菱花尘满慵将照^[7]。倚楼无语欲销魂，长空暗淡连芳草。

[1] 阑：尽，完结，结束。

[2] 红英：红色的花朵。

[3] 画堂：华美的房屋。

[4] 屏山：画有山景的屏风。袅：烟气缠绕上腾的样子。

[5] 沉沉：石沉大海，一点消息也没有。

[6] 杳杳：无边无际，无限深远。

[7] 菱花：这里指代镜子。慵：困倦，倦怠。

这首词原词牌下面有“春暮”二字，的确，除开篇句首一“阑”字直接点明春暮之外，我们从“红英落尽青梅小”句中 also 看到，词中所写景象已是晚春，暮春。诵读这首词，我们很容易看出，上阕写景，下阕抒情。写景是“将”“渐”“小”，描绘

春光慢慢消逝，无可挽留，这是室外；室内呢，是沐浴于蒙蒙春雨中的华屋里，沉香将尽，余烟袅袅，悄无人语，分外幽静。此景此境悄然触发起身居此中的伊人之情，这就过渡到下阕中的抒情。

是什么样的情呢？原来是独居静雨画堂中的伊人思想当初海誓山盟而今却杳无消息的爱情。自然恋人至今无消息，豆蔻佳人寡守翘盼，这就不能不使佳人生发一种销魂的忧伤：懒得梳洗打扮，倚着楼窗，凝望一线长天蒙蒙雨色中的芳草，无语神伤。佳人佳约，却佳期孤守，不知何时是了，正就像窗外的渐老春光，无人赏识，又难以挽留。全词由景及情，抒发了佳人佳期中渴盼佳约而不得的无限感伤。

踏 莎 行

(宋) 陈尧佐

二社良辰^[1]，千秋庭院。翩翩又见新来燕。凤凰巢稳许为邻，潇湘烟暝来何晚。乱入红楼，低飞绿岸。画梁时拂歌尘散^[2]。为谁归去为谁来，主人恩重珠帘卷。

[1]二社：指春社与秋社，是祭祀土地神的节日。春社在立春后第五个戊日，秋社在立秋后第五个戊日。

[2]歌尘散：汉代刘向的《别录》记载，时人有个叫虞公的，善于歌唱，歌声能震散梁上灰尘。

这首词表面上是咏燕，其实是借咏燕以抒怀。那么，抒的又是什么怀呢？于此，就必须知道此词的写作背景。据史书记载，宋仁宗时，宰相吕夷简想归隐，仁宗问什么人能替代，吕夷简就推荐了陈尧佐。尧佐当上宰相后，极怀感恩之心，特地写了这首咏燕词，使人歌唱。可见此词的目的与旨意。

词的上片首三句描绘燕子翩然来归的欢畅环境，比喻

当朝的礼贤下士，人才竞相归附。句中的“又”字说明人才不断到来，“新来”暗喻词人自己初来上任。接下去，“凤凰”两句寄寓吕夷简的荐引之德与词人的相见恨晚之心。以“凤凰巢稳”喻吕夷简的华美与高贵，“许为邻”抒发谦恭之意。这两句十分婉曲地表达了对吕夷简的赞美之情和词人心中的知遇之恩。

下片前三句借燕子欢乐舒畅的纷飞之状继续抒写词人的知遇之情歌颂之心。结片两句说主人主动卷帘让燕子飞入华屋，充分反映了吕夷简礼贤人才的引荐之德，也进一步表述了词人的感激之情。这首小词托物咏怀，不落言筌，含蓄蕴藉，读来使人玩味不尽。

踏 莎 行

(宋) 晏 殊

细草愁烟，幽花怯露^[1]，凭栏总是销魂处。日高深院静无人，时时海燕双飞去。带缓罗衣，香残蕙炷^[2]，天长不禁迢迢路^[3]。垂杨只解惹春风，何曾系得行人住！

[1]“细草”二句：小草上烟霭迷蒙，似含愁怨；花蕊上露珠晶莹，犹如怯态。愁怨、怯态用拟人化手法写出了湿暗处的花草的动人情状。

[2]“带缓”二句：拴系罗衣的腰带松弛下来，段段蕙香烧成了残灰。蕙，指蕙香，一种以蕙草为香料制成的薰香。炷，即“一炷香”的“炷”，量词。

[3]迢迢：指路途非常遥远。

这首词通篇抒发了一种伤春的情绪。上片是写人凭栏眺望中的景。小草，幽花，日照中双双飞去的海燕，深院中只主人一人独自凭栏。小草是丝丝烟霭的迷蒙笼罩，仿佛含着愁怨，幽花是点点露珠的炫照，似是怯寒的娇态。这种纤细

幽微的人格化拟写，接以“深院静无人”“海燕双飞去”的孤寂，表露出了一种细腻幽深的情思中韶华易逝的深沉怅惘。

词的上片写的是凝望室外，下片接着写的是环顾室内的情境。人消瘦了，衣带宽松下来，蕙香熏烧着，一段段变成残灰。这里描写出了一种哀伤黯淡的人物心绪。而山高路远，人隔天涯，凭任垂杨风情万种的牵惹，也无可留住行人的离别，更给人以一种绵绵无尽的凄婉和哀伤。

晏殊的词风大多幽微凄惻。这首《踏莎行》词就是在一种极为纤细深婉的情思的叙写中，寄寓着一种韶光不再的深沉叹惋，表现了词人高远深挚的对美好境界的追寻向往和惆怅。

踏 莎 行

(宋) 晏 殊

祖席离歌^[1]，长亭别宴^[2]，香尘已隔犹回面^[3]。
居人匹马映林嘶^[4]，行人去棹依波转^[5]。画阁
魂消^[6]，高楼目断，斜阳只送平波远。无穷无尽是离
愁，天涯地角寻思遍。

[1]祖席离歌：古时候，人们远行常常要祭路神，祭路的仪式叫“祖”，于是，后人就称饯别的宴会叫“祖席”。离歌，就是送行的歌。

[2]长亭：古时候，书信往来，路途遥远，每隔一定的距离就设驿站邮亭供邮差使用，所谓“十里一长亭，五里一短亭”。

[3]香尘：指行人离去所扬起来的带有花香的尘土。

[4]居人：指送别客人的主人。

[5]棹：指划船的桨，这里指代船。

[6]画阁：指代居所。

这首词写的是送行，细腻地抒发一种离情别绪之苦，词风哀婉。古时路途交通十分差，主人送别行人，不知何时重相聚。因此，人们格外珍惜至亲好友的相逢与离别。

本首词写离情，写饯行，写树林中、江流边，马儿嘶鸣，舟行渐远，在一种看似平实的叙写中，蕴含着主人惜别的依依深情。也许，主人的这种依依送别之情在词的上片的平实叙写中，我们还不太轻易感受到，但接续的词的下片对别绪的追述，则分明展现出主人对行人的离去是怎样的思念和怅惘。行人别去，主人归来，高楼望远，江流上斜阳落照，早已不见了行人远去的船帆，满腔离愁又一次触发，无奈，只好对行人远去的天涯海角作种种怀想，聊慰相思之苦。全词语言平易，却情深意婉。写别时离情，叙别后愁绪，描述场景，抒发别绪，直写无碍，蕴含丰厚，真切感人。